



平成28年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 長谷川香料株式会社

コード番号 4958 URL <http://www.t-hasegawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員

(氏名) 近藤 隆彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼副社長執行役員

(氏名) 海野 隆雄

TEL 03-3241-1151

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第1四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第1四半期	11,209	7.5	906	63.4	907	12.2	713	29.3
27年9月期第1四半期	10,430	△3.5	554	△46.0	809	△34.9	552	△34.8

(注) 包括利益 28年9月期第1四半期 1,724百万円 (△32.6%) 27年9月期第1四半期 2,558百万円 (26.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
28年9月期第1四半期	円 銭 16.82	—
27年9月期第1四半期	円 銭 13.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
28年9月期第1四半期	百万円 101,266	百万円 80,524	79.5%
27年9月期	101,604	79,436	78.2%

(参考) 自己資本 28年9月期第1四半期 80,524百万円 27年9月期 79,436百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年9月期	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 30.00
28年9月期	—	—	—	—	—
28年9月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期(累計)	23,200	6.0	1,690	△3.8	1,810	△14.9	1,190	1.1
通期	49,430	4.7	4,380	0.6	4,640	△4.4	3,070	0.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期1Q	42,708,154 株	27年9月期	42,708,154 株
28年9月期1Q	281,069 株	27年9月期	281,069 株
28年9月期1Q	42,427,085 株	27年9月期1Q	41,527,575 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日本銀行の金融政策や政府の経済対策を背景に雇用情勢や企業収益等の改善が続き、景気は緩やかな回復基調にあったものの、中国をはじめとする海外経済の減速傾向や円安による物価上昇等、景気を下押しするリスクが存在し、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

一方、香料業界は、国内市場の成熟化、同業者間での競争激化、品質保証に関する要求増加など依然として厳しい状況にありました。

このような環境の中で、当社グループは製品の品質管理と安全性の確保を第一に、研究・技術開発力の一層の向上に努め、当社独自の高品質・高付加価値製品の開発に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は11,209百万円（前年同期比7.5%増）と増収となりました。

部門別に見ますと、食品部門は、当社及びT. HASEGAWA U. S. A., INC. の売上が増加したこと、並びにPeresscol Sdn. Bhd. の売上が寄与したこと等を主因に前年同期比8.0%増加し、9,625百万円（製品：売上高8,985百万円、前年同期比5.9%増 商品：売上高639百万円、前年同期比50.1%増）となりました。

フレグランス部門は、当社のトイレタリー製品向けの売上が増加したこと等を主因に前年同期比4.2%増加し、1,584百万円（製品：売上高1,437百万円、前年同期比3.1%増 商品：売上高147百万円、前年同期比16.8%増）となりました。

利益につきましては、営業利益は売上増及び売上原価率の改善による売上総利益の増加を主因に前年同期に比べ351百万円（63.4%）増加し、906百万円となりました。経常利益は営業利益の増加を主因に前年同期に比べ98百万円（12.2%）増加し、907百万円となりました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ161百万円（29.3%）増加し、713百万円となりました。

また、海外連結子会社の売上高は、長谷川香料（上海）有限公司が前年同期比1.6%の増収（現地通貨ベースではほぼ前年同期並み）、T. HASEGAWA U. S. A., INC. が前年同期比46.6%の増収（現地通貨ベースでは同38.2%の増収）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメントごとの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて表示しております。

①日本

売上高は8,732百万円（前年同期比5.0%増）、セグメント利益は755百万円（前年同期比38.6%増）となりました。

②アジア

売上高は1,939百万円（前年同期比14.0%増）、セグメント利益は190百万円（前年同期比49.9%減）となりました。

③米国

売上高は809百万円（前年同期比44.3%増）、セグメント損失は24百万円（前年同期は79百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

前連結会計年度末に比べ、商品及び製品が206百万円、原材料及び貯蔵品が275百万円それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が776百万円、有価証券が999百万円それぞれ減少しました。これらを主因に、流動資産は前連結会計年度末に比べ1,436百万円減少し、48,308百万円となりました。

(固定資産)

前連結会計年度末に比べ、有形固定資産が減価償却の進捗に伴い、690百万円減少しました。また、投資その他の資産が、株価の上昇に伴い投資有価証券が増加したことにより、1,764百万円増加しました。これらを主因に、固定資産は前連結会計年度末に比べ1,098百万円増加し、52,958百万円となりました。

(流動負債)

前連結会計年度末に比べ、支払手形および買掛金が222百万円増加した一方で、未払法人税等が341百万円、賞与引当金が802百万円、設備投資に係る未払金の減少などにより流動負債その他が991百万円、それぞれ減少しました。これらを主因として、流動負債は前連結会計年度末に比べ1,933百万円減少し、10,174百万円となりました。

(固定負債)

前連結会計年度末に比べ、退職給付に係る負債が74百万円減少した一方で、株価が上昇したことなどを主因として繰延税金負債が596百万円増加しました。この結果、固定負債は前連結会計年度末に比べ506百万円増加し、10,568百万円となりました。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べ、為替換算調整勘定が262百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が1,263百万円増加しました。これらを主因として、純資産合計は前連結会計年度末に比べ1,088百万円増加し、80,524百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月6日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(4) 追加情報

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、平成27年12月17日開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う打ち切り支給が承認可決されましたので、同制度を株主総会終結の時をもって廃止しております。

これに伴い、当第1四半期連結会計期間において、当社の「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し、固定負債の「長期未払金」1,063百万円を計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,674	9,650
受取手形及び売掛金	16,389	15,612
有価証券	10,999	9,999
商品及び製品	5,917	6,123
仕掛品	154	92
原材料及び貯蔵品	5,276	5,551
その他	1,338	1,282
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	49,744	48,308
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,517	17,082
その他(純額)	15,097	14,841
有形固定資産合計	32,614	31,923
無形固定資産		
のれん	1,319	1,339
その他	1,220	1,225
無形固定資産合計	2,540	2,564
投資その他の資産		
投資有価証券	15,742	17,520
退職給付に係る資産	6	7
その他	1,016	1,002
貸倒引当金	△60	△59
投資その他の資産合計	16,705	18,470
固定資産合計	51,860	52,958
資産合計	101,604	101,266
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,896	6,118
1年内返済予定の長期借入金	5	23
未払法人税等	863	521
賞与引当金	1,054	251
役員賞与引当金	36	-
資産除去債務	78	78
その他	4,172	3,180
流動負債合計	12,107	10,174
固定負債		
長期借入金	151	133
繰延税金負債	2,237	2,834
退職給付に係る負債	6,490	6,416
役員退職慰労引当金	1,066	-
資産除去債務	69	69
長期末払金	-	1,063
その他	46	51
固定負債合計	10,061	10,568
負債合計	22,168	20,742

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,364	5,364
資本剰余金	7,292	7,292
利益剰余金	57,173	57,251
自己株式	△321	△321
株主資本合計	69,509	69,586
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,404	9,667
為替換算調整勘定	1,817	1,555
退職給付に係る調整累計額	△295	△285
その他の包括利益累計額合計	9,926	10,938
純資産合計	79,436	80,524
負債純資産合計	101,604	101,266

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)
売上高	10,430	11,209
売上原価	6,775	7,071
売上総利益	3,654	4,137
販売費及び一般管理費	3,100	3,231
営業利益	554	906
営業外収益		
受取利息	15	7
受取配当金	26	28
為替差益	216	-
その他	19	20
営業外収益合計	278	56
営業外費用		
支払利息	0	2
設備賃貸費用	22	22
為替差損	-	25
その他	1	4
営業外費用合計	24	54
経常利益	809	907
特別利益		
投資有価証券売却益	-	142
特別利益合計	-	142
特別損失		
固定資産廃棄損	4	5
特別損失合計	4	5
税金等調整前四半期純利益	804	1,044
法人税等	252	331
四半期純利益	552	713
親会社株主に帰属する四半期純利益	552	713

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	552	713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	678	1,263
為替換算調整勘定	1,319	△262
退職給付に係る調整額	9	9
その他の包括利益合計	2,006	1,011
四半期包括利益	2,558	1,724
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,558	1,724
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,216	1,676	537	10,430	—	10,430
セグメント間の内部売上高 又は振替高	104	25	23	153	△153	—
計	8,320	1,702	560	10,584	△153	10,430
セグメント利益又は損失(△)	544	379	△79	845	△35	809

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△35百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△19百万円、セグメント間の債権債務消去に係る為替差損益△16百万円、その他△0百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、Peresscol Sdn. Bhd.の全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「アジア」において3,772百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「アジア」セグメントにおいて、Peresscol Sdn. Bhd.の全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては1,822百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,568	1,851	789	11,209	—	11,209
セグメント間の内部売上高 又は振替高	164	88	19	272	△272	—
計	8,732	1,939	809	11,482	△272	11,209
セグメント利益又は損失(△)	755	190	△24	920	△12	907

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△12百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額2百万円、セグメント間の債権債務消去に係る為替差損益△15百万円、その他△0百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。